

H28.2.5
全

女性の能力発揮へグループ活動

料理教室など幅広く

愛知 小牧市 女性農業者など25人

【愛知】地域農業の活性化において、女性の果たす役割に期待が高まっている。小牧市生活改善実行グループ連絡研究会（石田昭代会長）は、自らの生活資



グループの役員の皆さん

質の向上と地域農業の活性化を推進するために、さまざまな研究、情報交換などを行い、実践活動の担い手として女性の能力発揮を目指している。

現在、イチシクや水稻の女性農業者など25人が会員で、市民講座の料理教室を開き、視察研修や農業祭への参加も実施している。同市食育推進サポーター会議のメンバーにもなり、市の食育推進に農村女性の声を反映させている。

中でも料理教室は事前にメンバーが集まり用意周到

に準備。1月19日の当日には「生芋コンニャクと野菜たっぷりワンプレートご飯」の作り方を市民に教えた。メンバーの一人が生産したコンニャク芋を使い、コンニャクの作り方を分か

りやすく実演し、地元野菜を使った煮物料理などと盛り合わせた。

石田会長は「会員のみならず積極的に取り組み、グループの活動が活発になった。参加してくれた市民の声が届きになります」と引き続き料理教室を開いていきたいという。